

令和5年3月31日

令和4年度 特別の教育課程の実施状況等について

東京都		
カリキュラム開発拠点校	管理機関名	設置者の別
東京都立南多摩中等教育学校	東京都教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

カリキュラム開発拠点校	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
東京都立南多摩中等教育学校	欄外に記入	欄外に記入

○自己評価結果の公表

https://www.metro.ed.jp/minamitama-s/our_school/education.html

○学校関係者評価結果の公表

https://www.metro.ed.jp/minamitama-s/our_school/education.html

※結果公表に関する情報について、ウェブ上で公開している場合は公開しているウェブページの URL を記入すること。ウェブ以外で公開している場合は、公開している情報を閲覧できる場所・方法を適宜記入すること。

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

○「データ分析」(3年、年間授業時数 35 時間)

技術・家庭の代わりに設置し、4年生及び5年生での探究活動に向け、データ分析の基礎を学ぶ。

○「地球探究」(4年、2単位)

従来の「地理A」の代わりに設置し、地学の内容も採り入れて自然地理を学習した後、自然と人間生活の関わりを中心に、地理Aの学習範囲の中から各自がテーマを決めて探究活動を行い、その成果を発表する。

○「MIE (Mathematics in English)」(5年、1単位)

英語の教材を使い数学を学ぶことによって、論理的な英語表現に慣れることも目的として設置する。

○「Pensées (パンセ)」(6年、1単位)

公民科の必履修科目「現代社会」と連携して、課題解決型学習を行う教科として設置する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性
(前期課程)

WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校の指定を受け、今まで以上に探究活動を充実させるために、4年(高校1年)に週2時間の「総合的な探究の時間」を設定することになった。理系・文系を問わず、探究活動にデータ分析は必要となるので、3年次にその基礎を学んでおくことが重要である。

(後期課程)

WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校として各学年に文理の枠にとらわれない科目を設定することとなり、上記2(1)のとおり「地球探究」及び「MIE(Mathematics in English)」を設定した。

「MIE(Mathematics in English)」では、英語で数学を学ぶことにより、論理的な英語表現を身に付けさせ、数学力、英語運用能力の向上を図る。

また、「Pensées(パンセ)」を設置し、深い思考力や判断力を育成する。

これらの教科横断的な学びの実践により、科学的に思考、吟味し、活用する力の向上につなげる。

(3) 特例の適用開始日

令和2年4月1日

(4) 取組の期間

令和5年3月31日

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・ 計画通り実施できている
- ・ 一部、計画通り実施できていない
- ・ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・ 実施している
- ・ 実施していない

<特記事項>

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係
文理融合とグローバルな社会課題研究を踏まえたカリキュラムを実動させ生徒の資質・能力を育成するため、探究学習と教科学習の連携が強化できた。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

豊かな人間性や、創造性、思いやりの心、克己心、人間関係調整力を育むとともに、個に応じた将来の進路に向けて、一般的な教養を高め、深い思考力や探究心を育み、学び続ける姿勢を培っている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

専門家を招聘した校内授業研究やチームティーチングでの教員との連携を強化し、授業力の更なる向上を図る。